

前日のお知らせ



参議院議員選挙投票日を前に、都立井草高校で
本番さながらの「模擬投票」を実施



と き 平成 28 年 7 月 7 日 (木) 午後 1 時 30 分 開始

と ころ 都立井草高等学校(練馬区上石神井 2-2-43) 2階会議室

7日(木) 都立井草高校(有明得良人校長)で全校生徒 866 人が参議院議員選挙(東京都選出と比例代表選出)の「模擬投票」を行う。

同校では、主権者教育の一環として 2012 年 12 月に初めて模擬投票を実施。今回で 5 回目の取組。生徒は模擬投票日に向けて、学校での政治経済の授業の中で制度や時事問題について学んできた。実際に立候補している候補者や政党の公約を知るために、生徒一人ひとりに選挙公報を配付。模擬投票日は、あらかじめ選挙公報を読んだうえで投票する。

区の選挙管理委員会事務局では、リアルな選挙を体験してもらうため、投票箱や記載台は実物を用意。世帯ごとに配られる「選挙のお知らせ」も実物と同じ様式に、生徒の名前を記載した。投票受付や用紙交付、開票作業も生徒が担当する。

開票は、7月10日の参議院議員選挙の結果確定後、校内で開票し公表はしない。

【練馬区選挙管理委員会の若年層への啓発活動】

区選管では、今まで若年層を対象とした啓発活動を積極的に行ってきた。小学生を対象とした選挙体験教室、中学校では中学生啓発講座、大学では選挙時にインターンシップ生を受け入れての啓発活動や大学構内での模擬投票を実施してきた。

【今回の参議院議員選挙での取組】

練馬区では、全国で初めて高校生の投票立会人を期日前投票所で起用した。井草高校からは、生徒9人が、6日までに投票立会人として従事している。従事した生徒からは、「候補者の主張をよく見て投票したい。」「現場の雰囲気があったので、リラックスして投票できそうだ。」などの声があった。

この9人や18歳有権者を含む全校生徒が、実際の立候補者や政党に投票する。既に、期日前投票を済ませた生徒もあり、生徒たちのリアルな選択の場となる。

【参考】東京都立井草高等学校について

所在地：練馬区上石神井 2 - 2 - 4 3

校長氏名：有明得良人(ありあけうらと)校長

在校生徒数：866 人



過去の模擬投票の様子